

禅の墨蹟 (恭真書)



江戸時代の臨済宗の僧侶、白隠禅師の「猿猴捉月図（えんこうそくげつず）」を模写しました。水面に映った月を取ろうとした猿が溺れる話です。空想を抱くことを諷する意味があり、広く画題として用いられています。力強い達磨図が有名な白隠禅師のかわいい猿は自在です。

案内



ネルケ無方師 講演会



10月6日(土)午後1時30分より、第17区寺院主催により、兵庫県安泰寺住職・ネルケ無方師の講演会が当寺を会場にして開催されます。ドイツ生まれの禅僧のお話しをぜひお聞きください。

□子ども禅のつどい開催

主催 第十七教区寺院
期日 八月二十六〜二十七日
会場 十二天 常光寺
対象 小学生五十名



流しソーメンは子ども達に好評です！坐禅、写経、花火 etc

□梅花だより

梅花流全国奉詠大会
期日 五月三〜四日
会場 静岡 草薙総合体育館
第四宗務所は二十三日登壇奉詠、奉詠曲は「太祖常済大師瑩山禅師讚仰御詠歌（法灯）」。
検定会 七月二十七日

*梅花流詠讚歌（御詠歌）を始めませんか。お釈迦さま、道元さま、瑩山さま、諸仏 諸菩薩さまを讃え、ご先祖さまを敬つ（ころ）を学びることが出来ます。講習を募集中です。

仏事の知識

お葬式は何をしている？

曹洞宗のお葬式は故人となられた方を仏さまにしてあの世に送ること。最初に内諷経と呼ばれる儀式を行う。剃髪し、得度の式を行い仏弟子となり、戒名（僧名）をいただき、お釈迦さま伝来の教えを授ける。導師の引導が終わると僧侶の読経で親族、会葬者がお焼香をし、香の薫りの中、黄泉へと旅立つ。

葬儀の「葬」は、「草冠」と「死」と「艸」と書く。土葬の場合に掘った穴に草を敷き詰め（ゴザ）、遺体を寝せてその上に草を被せて土を盛った。因みに、「葬」とは自宅から遠くへ（墓）移動すること。現在では会館での葬儀が主流となり四十九日納骨が多く見かけられるが、昔は自宅葬、納骨が常であった。

仏事の知識

QRコード



●曹洞宗 HP



●永平寺



●總持寺



●曹洞禅ナビ

